



平成25年8月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成25年3月28日

上場会社名 株式会社ヒマラヤ
 コード番号 7514
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野水 優治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 井上 卓郎
 四半期報告書提出予定日 平成25年4月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

上場取引所 東証一部・名証一部
 URL <http://www.himaraya.co.jp/>
 TEL (058) 271-6622
 配当支払開始予定日 平成25年5月15日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第2四半期の連結業績 (平成24年9月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第2四半期	31,459	5.1	834	△10.6	891	△2.8	382	△1.1
24年8月期第2四半期	29,942	—	933	—	917	—	386	—

(注) 包括利益 25年8月期第2四半期 480百万円 (13.8%) 24年8月期第2四半期 422百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年8月期第2四半期	31	03	—	—
24年8月期第2四半期	31	73	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
25年8月期第2四半期	36,920		12,121		32.8
24年8月期	34,554		11,788		34.1

(参考) 自己資本 25年8月期第2四半期 12,121百万円 24年8月期 11,788百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭		
24年8月期	—	—	6	00	—	—	12	00	18	00
25年8月期	—	—	9	00	—	—	—	—	—	—
25年8月期 (予想)	—	—	—	—	—	—	9	00	18	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・ 無

3. 平成25年8月期の連結業績予想 (平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	66,000	7.1	2,400	14.4	2,400	14.0	1,350	49.9	109	57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有・無

② ①以外の会計方針の変更： 有・無

③ 会計上の見積りの変更： 有・無

④ 修正再表示： 有・無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.2「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年8月期2Q	12,320,787株	24年8月期	12,320,787株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年8月期2Q	156株	24年8月期	155株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年8月期2Q	12,320,631株	24年8月期2Q	12,180,435株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(金額単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間および第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。

(参考) 平成25年8月期の個別業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	56,900	7.2	2,500	18.2	1,350	50.3	109	57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年9月1日～平成25年2月28日)における我が国の経済は、円高の継続が輸出環境を悪化させていたこと、完全失業率が若年層を中心として高い水準にあったことなどから厳しい状況が続いておりましたが、政権交代後の新政権による物価目標や金融政策発表による株価の上昇などを通して企業の業況判断が改善しつつあり、景気回復への期待感が高まっております。しかしながら、デフレ基調の改善にはまだ時間がかかると予想され、引き続き生活防衛意識の高まりにより個人消費は厳しい選別基準を伴うものになると注視しております。

当第2四半期連結累計期間における連結会社の売上げは、一般スポーツ用品はランニングブームに代表される健康志向の高まりが継続していることなどからシューズを中心に関連商品群が好調であったこと、2014年サッカーワールドカップ最終予選での日本代表の活躍により市場が活性化したことなどから前年同期比106.2%となりました。ゴルフ用品は厳しい消費環境下、ゴルフクラブの買換えサイクルが長期化する傾向が見られることなどから低調に推移し、秋冬物ゴルフウェアが気温の低下等に伴い順調に推移したものの前年同期比99.3%となりました。スキー・スノーボード用品は市場が縮小傾向にありましたが、降雪に恵まれたシーズンとなったことに加え、スキー場や鉄道会社での集客キャンペーンが一定の成果を得たとみられることから需要が喚起され前年同期比100.1%となりました。アウトドア用品は新規参入層の増加によるアウトドアフィールド需要が活性化していること、アウトドア系ブランドのタウンユースでのニーズの高まりが継続していることを通して冬物衣料も順調に推移し、前年同期比120.3%となりました。連結売上総利益率は11月後半からの気温が低く推移したことにより、季節商材である冬物防寒衣料、雑貨の売上げがシーズン初頭から好調であり、プライベートブランドでは、機能性を高めたウェア『温The Body』(保温・発熱機能)を中心に売上げに寄与したことなどから37.8%となり、好調であった前年同期と同率となりました。

店舗については、株式会社ヒマラヤにて8店舗、株式会社ビーアンドディーにて2店舗を出店し、株式会社ヒマラヤにて3店舗を閉店したことにより、平成25年2月末時点で当社グループの店舗数は全国に株式会社ヒマラヤ105店舗、株式会社ビーアンドディー31店舗となり合計136店舗、売場面積は233,269㎡となりました。

販売費及び一般管理費については、新規出店時の一時費用、および店舗運営費用全般の見直し、抑制を継続して実施した結果、当初計画に対して収益改善には寄与いたしましたが、前年と比較した場合の増加分を解消するまでには至りませんでした。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は売上高31,459百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益834百万円(前年同期比10.6%減)、経常利益891百万円(前年同期比2.8%減)、四半期純利益382百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は22,274百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,730百万円増加いたしました。これは主に商品が1,559百万円増加したことによるものであります。固定資産は14,645百万円となり、前連結会計年度末に比べ635百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が316百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は36,920百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,365百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は17,181百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,110百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が1,000百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が1,824百万円増加したことによるものであります。固定負債は7,617百万円となり、前連結会計年度末に比べ921百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は24,799百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,032百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は12,121百万円となり、前連結会計年度末に比べ332百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益382百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は32.8%(前連結会計年度末は34.1%)となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ276百万円増加し、4,846百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は1,346百万円（前年同期は1,020百万円の増加）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上に加えて、仕入債務の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は1,119百万円（前年同期は851百万円の減少）となりました。これは主に新規出店等にかかる有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は49百万円（前年同期は462百万円の減少）となりました。これは主に長期借入れによる収入によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの通期の業績は、提出会社にて秋冬物商品の販売が順調であったこと、新規出店店舗が当初計画10店舗に対して12店舗の出店となることなどにより、売上が増加し、販管費全般にわたるコストの見直しで、売上高、利益ともに前回発表の個別業績予想を上回る見込みであります。子会社である株式会社ビーアンドディーは秋冬物商品の販売不振などにより売上が計画を下回る状況にあることなどから、平成24年9月27日に「平成24年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました平成25年8月期（平成24年9月1日～平成25年8月31日）の通期の業績予想を次のとおり修正いたします。

連結売上高は変わらず66,000百万円、連結営業利益は100百万円増加し2,400百万円、連結経常利益は100百万円増加し2,400百万円、連結当期純利益は50百万円増加し1,350百万円となる見込みです。

個別売上高は150百万円増加し56,900百万円、個別経常利益は200百万円増加し2,500百万円、個別当期純利益は70百万円増加し1,350百万円となる見込みです。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年9月1日以後に取得した有形固定資産（附属設備以外の建物を除く。）について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,570	4,846
売掛金	785	721
商品	13,974	15,533
貯蔵品	19	11
繰延税金資産	308	322
その他	885	838
流動資産合計	20,544	22,274
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,886	4,980
土地	1,476	1,476
建設仮勘定	20	81
その他(純額)	546	708
有形固定資産合計	6,930	7,247
無形固定資産		
のれん	306	268
ソフトウェア	318	306
その他	48	49
無形固定資産合計	674	623
投資その他の資産		
投資有価証券	538	640
長期貸付金	697	823
差入保証金	3,769	3,982
繰延税金資産	635	675
その他	790	679
貸倒引当金	△24	△26
投資その他の資産合計	6,405	6,774
固定資産合計	14,010	14,645
資産合計	34,554	36,920

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,026	10,851
短期借入金	2,300	1,300
1年内償還予定の社債	80	45
1年内返済予定の長期借入金	2,560	2,972
リース債務	11	9
未払法人税等	496	501
賞与引当金	457	478
店舗閉鎖損失引当金	—	34
資産除去債務	15	—
その他	1,122	989
流動負債合計	16,070	17,181
固定負債		
社債	15	—
長期借入金	4,965	5,810
リース債務	13	6
役員退職慰労引当金	311	319
退職給付引当金	185	209
ポイント引当金	120	120
資産除去債務	930	992
その他	153	158
固定負債合計	6,695	7,617
負債合計	22,766	24,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,544	2,544
資本剰余金	4,004	4,004
利益剰余金	5,223	5,457
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,771	12,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16	115
繰延ヘッジ損益	△0	0
その他の包括利益累計額合計	16	115
純資産合計	11,788	12,121
負債純資産合計	34,554	36,920

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
売上高	29,942	31,459
売上原価	18,615	19,554
売上総利益	11,326	11,905
販売費及び一般管理費	10,392	11,071
営業利益	933	834
営業外収益		
受取利息	8	9
受取配当金	4	4
受取賃貸料	156	168
その他	44	76
営業外収益合計	214	258
営業外費用		
支払利息	45	39
不動産賃貸費用	143	153
その他	41	7
営業外費用合計	230	200
経常利益	917	891
特別利益		
移転補償金	151	40
特別利益合計	151	40
特別損失		
固定資産売却損	2	—
減損損失	76	122
店舗閉鎖損失	103	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	34
特別損失合計	182	157
税金等調整前四半期純利益	886	774
法人税、住民税及び事業税	364	450
法人税等調整額	136	△57
法人税等合計	500	392
少数株主損益調整前四半期純利益	386	382
四半期純利益	386	382

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	386	382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	98
繰延ヘッジ損益	1	0
その他の包括利益合計	36	98
四半期包括利益	422	480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	422	480
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	886	774
減価償却費	341	417
減損損失	76	122
のれん償却額	38	38
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△47	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△42	20
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	34
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	7
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4	23
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△15	—
受取利息及び受取配当金	△13	△13
支払利息	45	39
有形固定資産売却損益(△は益)	2	—
移転補償金	△151	△40
店舗閉鎖損失	103	—
売上債権の増減額(△は増加)	△5	61
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,109	△1,550
仕入債務の増減額(△は減少)	2,430	1,812
未払消費税等の増減額(△は減少)	△91	45
その他	48	△7
小計	1,503	1,789
利息及び配当金の受取額	5	5
利息の支払額	△41	△40
法人税等の支払額	△447	△407
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,020	1,346
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△150	—
定期預金の払戻による収入	150	—
有形固定資産の取得による支出	△705	△748
有形固定資産の売却による収入	69	—
投資有価証券の取得による支出	△20	△0
投資有価証券の償還による収入	30	—
敷金及び保証金の差入による支出	△220	△352
敷金及び保証金の回収による収入	36	21
その他	△40	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△851	△1,119

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300	△1,000
長期借入れによる収入	1,400	2,900
長期借入金の返済による支出	△1,624	△1,642
社債の償還による支出	△50	△50
自己株式の売却による収入	194	—
配当金の支払額	△71	△147
その他	△9	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△462	49
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△293	276
現金及び現金同等物の期首残高	5,141	4,570
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,847	4,846

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。